

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 2022年10月1日～2023年9月30日



発行 2024年2月1日

株式会社 小谷商事

目次

1. 組織の概要-----	3
1)組織概要に関する情報 -----	3
2)許可内容・品目及び許可番号一覧 -----	4
3)施設等の概要 -----	5・6
4)廃棄物の収集運搬量・処分量(2022年度) -----	6
5)処理工程図 -----	7
6)保有施設 -----	8
7)資格者 -----	8
2. 対象範囲 -----	9
3. 推進組織 -----	10
4. 環境経営方針 -----	11
5. 環境経営目標 -----	12
6. 環境経営活動計画 -----	13
7. 環境経営目標の実績及び評価 -----	14・15
8. 次年度の取組内容 -----	16
9. 環境関連法規制等の違反、訴訟の有無 -----	16
10. 代表者による全体評価と見直しの結果 -----	16
11. 優良産業廃棄物処理業者認定制度 -----	17
12. 地域貢献活動について -----	17

1.組織の概要

1)組織の概要

事業所名 株式会社 小谷商事

代表者 小谷鉄平

所在地

名称	施設	住所
本社・第1工場	積替え保管施設	〒454-0846 愛知県名古屋市中川区上流町2丁目16番地 TEL052-353-3913 FAX052-353-3440
第2工場	中間処理施設 切断	〒454-0846 愛知県名古屋市中川区上流町2丁目18番地1
金属スクラップヤード	有価物保管場所	〒454-0846 愛知県名古屋市中川区上流町2丁目17番地
港工場	中間処理施設 破碎、圧縮梱包、破碎(蛍光管に限る)	〒455-0016 愛知県名古屋市港区河口町2番17号
	積替え保管施設	
	銅線ナゲット加工施設	

環境管理責任者 三輪 龍

連絡先 052-353-3913

E-mail teppei.kotani@hotmail.co.jp

資本金 10,000,000円

創業 昭和29年4月

設立 平成3年4月23日

売上高 360百万円

事業内容
産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物中間処理業
金属スクラップ卸売業

従業員数 19名(2024年2月現在)

2)許可内容・品目及び許可番号一覧

	処分			収集運搬							(名古屋市) 積替保管
	切断 破碎	圧縮梱 包	破碎 ※廃蛍光 管に限る	名古屋 市	愛知 県	岐阜 県	三重 県	滋賀 県	静岡 県	長野 県	
廃プラスチック類	●	●		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
紙くず	●	●		○	○	○	○	○	○	○	
木くず	●			○	○	○	○	○	○	○	
繊維くず	●			○	○	○	○	○	○	○	
金属くず	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○	○
ガラスくず・陶磁器くず 及びコンクリートくず	●		△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
がれき類	●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
廃油				○	○	○	○	○	○	○	
特別管理産業廃棄物 引火性廃油・廃酸 廃アルカリ					○	○	○	○	○	○	

●石綿含有産業廃棄物を除く

◎石綿含有産業廃棄物を含む

△廃蛍光管に限る

水銀使用製品産業廃棄物を除く

水銀使用製品産業廃棄物を含む

○収集運搬可能品目

許可の種類	許可の範囲	許可番号	更新年月日	有効期限
産業廃棄物収集運搬業	名古屋市(優良)	06410056710	平成28年12月1日	令和5年11月30日
	愛知県(優良)	02300056710	平成30年12月11日	令和7年12月10日
	岐阜県(優良)	02100056710	平成29年2月18日	令和6年2月17日
	三重県(優良)	02400056710	平成28年10月24日	令和5年10月23日
	静岡県(優良)	02201056710	令和3年5月22日	令和10年5月21日
	滋賀県(優良)	02501056710	令和1年10月19日	令和8年10月18日
	長野県	2009056710	令和4年11月18日	令和9年11月17日
特別管理 産業廃棄物収集運搬業	愛知県(優良)	02350056710	平成29年2月3日	令和6年1月30日
	長野県	205905710	令和4年11月18日	令和9年11月17日
産業廃棄物処分業	名古屋市(優良)	06420056710	平成29年11月1日	令和5年11月30日

3)施設等の概要

本社・第1工場(積替え保管施設)	
保管場所	名古屋市中川区上流町2丁目16番地
面積	30.1㎡
種類	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む) 金属くず ガラスくず及び陶磁器くず及びコンクリートくず(石綿含有産業廃棄物を含む) がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)
保管上限	28.2㎡

第2工場(中間処理施設)	
設置場所	名古屋市中川区上流町2丁目18番地1
設置年月日	2008年2月23日
面積	323.38㎡
処理方法	切断
処理品目	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く) 紙くず 木くず 繊維くず 金属くず ガラスくず及び陶磁器くず及びコンクリートくず(石綿含有産業廃棄物を除く) がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く) 以上7種類
処理能力	43.8t/1日(8時間)

金属スクラップヤード	
所在地	名古屋市中川区上流町2丁目17番地
面積	224.69㎡

港工場(中間処理施設、積替え保管施設、銅線ナゲット加工施設)	
設置場所	名古屋市港区河口町2番17号
設置年月日	2020年7月6日
面積	2720.29㎡
処理方法	破碎
処理品目	廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物を除く) 紙くず 木くず 繊維くず 金属くず ガラスくず及び陶磁器くず及びコンクリートくず(石綿含有産業廃棄物を除く) がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)
処理能力	廃プラ1.68t/日(8時間)/紙くず1.52t/日(8時間)/木くず1.92t/日(8時間) 繊維くず1.12/日(8時間)/ガラ陶・金属くず2.16t/日(時間)/がれき2.16t/日(8時間)

設置場所	名古屋市港区河口町2番17号
設置年月日	2021年12月9日
面積	2720.29㎡
処理方法	圧縮梱包
処理品目	廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物を除く) 紙くず うh
処理能力	廃プラ37.44t/日(8時間)/紙くず33.68t/日(8時間)/金属くず196.16t/日(8時間)

設置場所	名古屋市港区河口町2番17号
------	----------------

設置年月日	2020年7月6日
面積	2720.29㎡
処理方法	破碎廃蛍光管に限る)
処理品目	金属くず(廃蛍光管に限る)、ガラスくず及び陶磁器くず(廃蛍光管に限る) 以上2種類(水銀使用製品産業廃棄物を含む)
処理能力	1.9t/日(8時間)
保管場所	名古屋市港区河口町2番17号
面積	76.2㎡
種類	廃プラスチック類 金属くず ガラスくず及び陶磁器くず がれき類
保管上限	51.5㎡

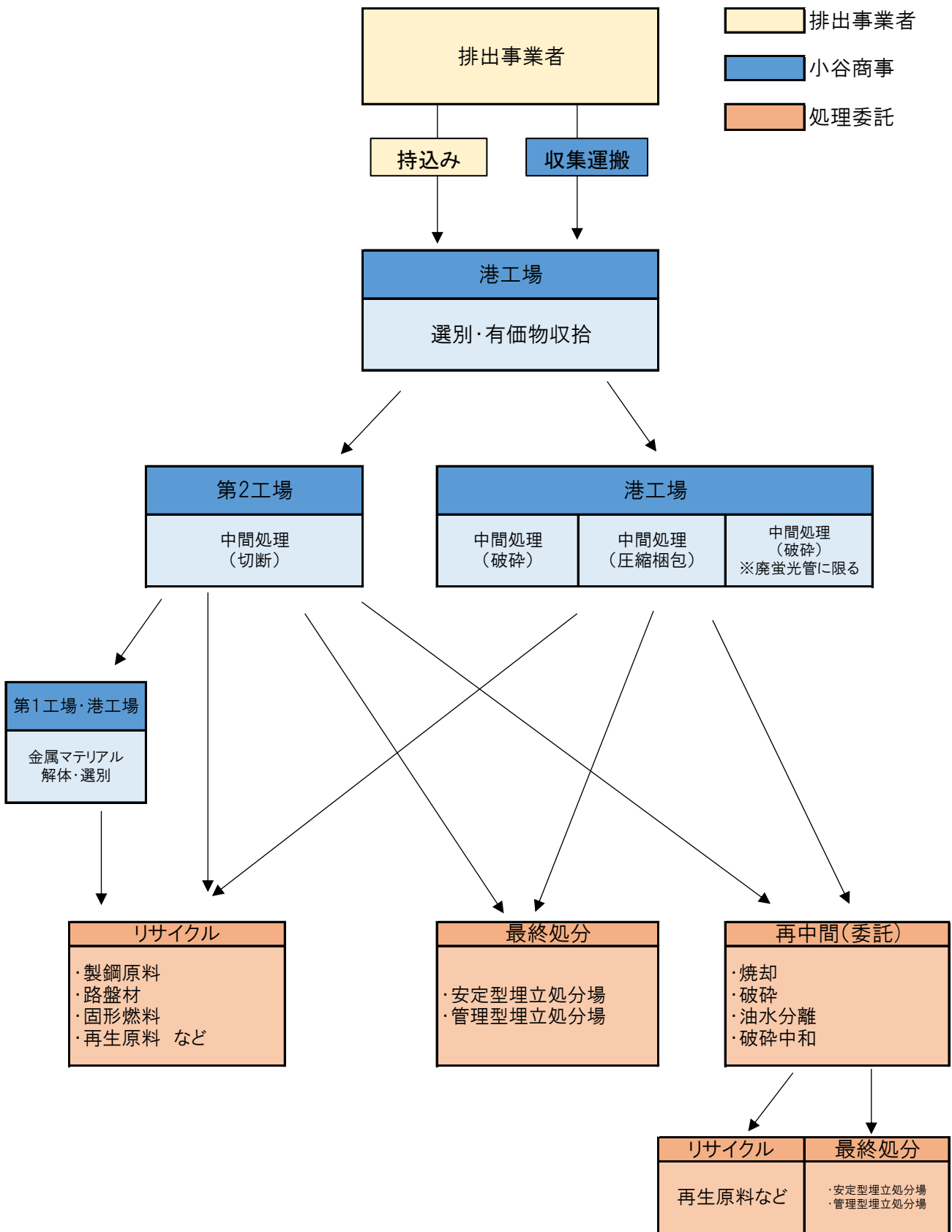
4) 廃棄物の収集運搬量・処分量(2022年度)

2022年度 収集運搬量・処分量	
産業廃棄物の収集運搬量	2704.52t/年
特別管理産業廃棄物の収集運搬量	5.33t/年
産業廃棄物の処分(中間処理)量	2680.12t/年

5) 金属くずの回収・収集(2022年度)

2022年度 金属くずの収集等	
金属くず回収・収集等	4707.09t/年

5)処理工程図



6)保有施設

①運搬車両

種類及び名称	最大積載量	台数
キャブオーバ(ユニック車)	7t	3台
キャブオーバ(ヒアブ車)	4t	1台
脱着式装置付コンテナ専用車	4t	2台
キャブオーバ(ユニック車)	3t	1台
キャブオーバ(パワーゲート車)	2t	2台
合計		9台

②処理施設

施設の種類の名称	能力	許可取得および導入日
大型スクラップシャー	105型800t	平成20年6月1日
銅線剥離機	18kw	平成24年3月5日
廃蛍光管クラッシャ	0.7kw	平成29年11月1日
アリゲーターシャー	5.5kw	令和3年6月21日

③機器

種類及び名称	能力	台数
三菱フォークリフト	2.5t	1台
三菱フォークリフト	0.9t	1台
トヨタフォークリフト	3.0t	1台
日立バックホー(1100φマグネット付)	0.7m ³	1台
日立バックホー	0.25m ³	1台
コベルコバックホー	0.25m ³	1台
トラックスケール	40t	1台
トラックスケール	50t	2台
1100φマグネット天井クレーン	2.8t	1台
1300φマグネット天井クレーン	4.8t	1台

7)資格者

資格名	人数
普通自動車	14名
大型自動車	10名
大型特殊	1名
危険物乙	1名
危険物丙	1名
ガス溶接	2名
フォークリフト	12名
小型移動式クレーン	10名
5t未満天井クレーン	6名
玉掛け	10名
車両系建設機械(整地)	9名
けん引	1名
職長安全責任者	2名
主任計量者	2名



2. 対象範囲

対象範囲は全組織・全活動とする

①サイト



②事業内容

活動の範囲

産業廃棄物収集運搬業



産業廃棄物中間処理業



金属スクラップ卸売業



特別管理産業廃棄物収集運搬業



③要員

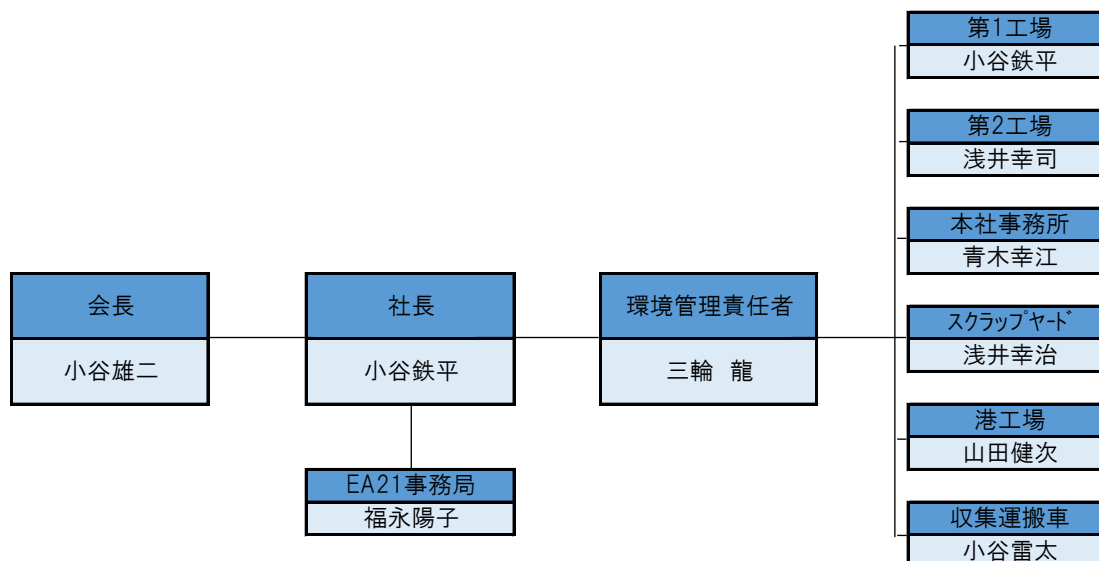
正社員19名

④環境活動レポートの対象範囲

活動期間は2022年10月から2023年9月とし2024年2月に環境活動レポートを発行。
次年度は2023年10月から2024年9月とし、2月ごろにレポートを作成・公表します。

3. 推進組織

1) 組織図



2) 役割責任

役職	役割・責任・権限
会長	・環境経営システムの総責任者
社長	・環境方針を定める ・環境管理責任者を定める ・資源(人員・設備・費用)の準備 ・全体の取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	・教育の実施、環境目的及び環境管理システムの承認 ・実施状況の確認 ・環境活動レポートの確認 ・環境活動の取組結果を確認
EA21事務局	・文書の作成管理 ・システム運営上の事務管理 ・環境管理活動計画実施の実績集計 ・環境活動レポートの作成
各リーダー	・環境目標達成するための活動の推進・提案
全従業員	・決められたことを守り、自主的・積極的な環境活動への参加

4. 環境経営方針

環境経営方針

[基本理念]

社会経済活動において役割を終えたもの、不要になったものを再び資源循環に戻す。持続可能な社会の実現のために、無駄と思えるような仕事でも努力を惜しまず、日本の未来・地球の未来のために責任を持って取り組む企業となる。

[経営理念]

1. リサイクルを通じて環境保全・経済活動の循環に貢献する。
2. 地域に根付いた企業となる。
3. 人がやらないことをする。

[社是]

感謝 誠実 努力 思いやり

[行動指針]

1. 当社の活動に関わる環境影響を最小限に抑え、委託された産業廃棄物をより多くリサイクルできるように全従業員で努力し、環境経営マネジメントの継続的改善を図ります。
2. 当社の活動に関わる環境関連法規及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとし取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物の削減およびリサイクル率の向上
 - (3) 水使用量の削減
4. 全従業員が当社の活動の意義を理解し、各々が自主的に環境目標達成のために行動できるように周知徹底し、自己啓発に努めます。

制定日 2015年8月1日

改訂 2023年2月7日

株式会社 小谷商事
代表取締役 小谷鉄平

5.環境経営目標3か年計画

環境経営目標・取組の基本方針

事業活動環境にどのような影響を与えているかを把握・評価をし、環境への影響が大きいと考えられる二酸化炭素排出量削減（電気使用量、燃料使用量）、水使用量の削減、廃棄物排出量の削減、廃棄物リサイクル率向上などに重点をおいて取り組みます。廃棄物の性状に適した処理方法（破碎・切断・圧縮梱包）について、お客様に提案し、新規顧客拡大にも努めていきたい。

(1)環境経営目標

Ⅲ環境経営目標の設定

取組項目 2020年度実績	基準数値	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
二酸化炭素排出量※1 140390.01kg-CO ₂	削減率	1%	2%	3%
	kg-CO ₂ /t	55.81	55.25	54.69
電力使用量の削減 64,763kWh	削減率	1%	2%	3%
	kWh/t	25.75	25.49	25.24
燃料(ガソリン)使用量の削減 3,311.09ℓ	削減率	1%	2%	3%
	ℓ/t	1.32	1.31	1.29
燃料(軽油)使用量の削減 41,888.3ℓ	削減率	1%	2%	3%
	ℓ/t	16.65	16.48	16.32
水使用量の削減 172m ³	削減率	1%	2%	3%
	m ³ /t	0.0684	0.0677	0.0670
廃棄物排出量の削減 1020kg	削減率	1%	2%	3%
	kg/t	0.415	0.411	0.407
廃棄物リサイクル率向上※2 92.0%	向上率	1%	2%	3%
	%	92.0	92.7%	93.7%
収集運搬量の拡大 2457.45t	増加量	30t	50t	100t
	t	2457.45	2487.45	2507.45
中間処理量の拡大 2515.17t	増加量	30t	50t	100t
	t	2515.17	2545.17	2565.17

t

※1 二酸化炭素排出係数0.441kg・CO₂/kWhを使用

※1 2020年度二酸化炭素排出量 140390.01kg-CO₂

※2 2022年度中間処理処分量2680.12t 内再資源化t1293.36

※ 基準数値の設定にあたり用いた分母の「t」は中間処理量(2020年度実績 2515.17t)。

※ 化学物質の使用なし

6. 環境経営活動計画

項目	計画内容	責任者
二酸化炭素排出量の削減	2020年度を基準年度として、二酸化炭素排出量を産業廃棄物中間処理量あたり 2%削減 する	小谷鉄平
電気使用量の削減	2020年度を基準年度として、電気使用量を産業廃棄物中間処理量あたり 2%削減 する 1)照明使用場所・時間の管理 2)冷暖房設定温度の管理 3)空調フィルターの清掃 4)中間処理にかかる時間が短縮できるように効率よく作業を行う 5)電線ナゲット加工における稼働時間の短縮	各工場責任者
燃料使用量(ガソリン)の削減	2020年度を基準年度として、ガソリン使用量を産業廃棄物中間処理量あたり 2%削減 する 1)毎月の使用量の管理 2)エコドライブの実施 3)燃費の管理 4)車両の日常点検を実施し、不良箇所がある場合は速やかに修理する	小谷雷太
燃料使用量(軽油)の削減	2020年度を基準年度として、軽油使用量を産業廃棄物中間処理量あたり 2%削減 する 1)毎月の使用量の管理 2)エコドライブの実施 3)燃費の管理 4)車両の日常点検を実施し、不良箇所がある場合は速やかに修理する	小谷雷太
水使用量の削減	2020年度を基準年度として、水使用量を産業廃棄物中間処理量あたり 2%削減 する 1)毎月の水使用量の把握 2)節水に努める 3)漏水点検をする	各所担当者
廃棄物排出量の削減	2020年度を基準年度として、廃棄物を産業廃棄物中間処理量あたり 2%削減 する 1)毎月の廃棄物量の把握 2)リサイクル・分別の徹底 3)コピー用紙の裏紙利用(機密書類は裏紙利用しない)	各事務所担当者
廃棄物リサイクル率向上	2020年度を基準年度として、廃棄物リサイクル率を 2%向上 させる 1)固形燃料(RPF)向けを増やす 2)マテリアルリサイクルの割合を増やす 3)細かな選別を心掛ける	各工場責任者
収集運搬量の拡大	2020年度を基準年度として、収集運搬量を 50t増加 する 1)回収ルート効率化し、1日で運べる量を増やす。 2)優良認定事業者を生かして、新規契約数を増やす。 3)車両・運転手の増員を図り、業務拡大に対応できるようにする。	小谷鉄平
中間処理量の拡大	2020年度を基準年度として、中間処理量を 50t増加 する 1)優良認定事業者を生かして、新規契約数を増やす。 2)新たな中間処理施設を増設し、処理能力の拡大を図る。 3)人員を追加し、持込にも対応できるように組織を強化する。	小谷鉄平

7.環境経営目標の実績及び評価

対象期間は2022年10月～2023年9月です。

取組項目	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減	54.69kg-CO ₂ /t	56.81kg-CO ₂ /t	96.2%	×
全体の二酸化炭素排出量は増加傾向にあり。去年よりも伸ばすことができた。引き続き継続的改善をしていき目標達成に尽力したい。				
電気使用量の削減	25.24kg-CO ₂ /t	23.87kg-CO ₂ /t	105.7%	○
1)照明使用場所・時間の管理 照明の使用場所・時間の管理は計画通り行うことができた。 2)冷暖房設定温度の管理 夏季・冬季での気温設定を見直し実行することができた。 3)空調フィルターの清掃 空調設備のフィルター掃除も定期的にコンプレッサーを使用し掃除した。 4)中間処理にかける時間が短縮できるように効率よく作業を行う 大型機器での処理をしていて、作業員の個々でのペースを掴めている為 効率向上の見込みにある。 5)電線ナゲット加工における稼働時間の短縮 去年よりも伸びているが、再度使用時間を改め生産性の向上に 努めていきたい。				
燃料使用量の削減 (ガソリン)	1.31kg-CO ₂ /t	1.58kg-CO ₂ /t	68.0%	×
1)毎月の使用量の管理 燃料の使用量に関して毎月管理できていた。 2)エコドライブの実施 現場での待ち時間が長いところもあるので、真夏以外ではなるべく アイドリングストップするように指導している。 3)燃費の管理 毎月燃費の管理はできていた。 4)車両の日常点検を実施し、不良箇所がある場合は速やかに修理する 車両の日常点検は行っていた。				
燃料使用量の削減 (軽油)	16.32kg-CO ₂ /t	16.54kg-CO ₂ /t	98.6%	×
1)毎月の使用量の管理 燃料の使用量に関して毎月管理できていた。 2)エコドライブの実施 現場での待ち時間が長いところもあるので、真夏以外ではなるべく アイドリングストップするように指導している。 3)燃費の管理 毎月燃費の管理はできていた。 4)車両の日常点検を実施し、不良箇所がある場合は速やかに修理する 車両の日常点検は行っていた。古くなっている車両も多いので、都度 修理などの対応をした。				
水使用量の削減	0.0670m ³ /t	0.0746m ³ /t	89.8%	×
1)毎月の水使用量の把握 水道局の検針に基づき、使用量の管理を行った。 2)節水に努める 夏場に使用量が増えるので、節水するように指導した。 3)漏水点検をする 特に気がつきにくいクーリングタワーなどを点検を強化した。				

廃棄物排出量の削減	0.407kg-CO ₂ /t	0.329-CO ₂ kg/t	123.7%	○
	1) 毎月の廃棄物量の把握 毎週は排出される一般廃棄物の数量から把握している。 2) リサイクル・分別の徹底 ペットボトル・空き缶などの選別を行っている。 3) コピー用紙の裏紙利用(機密書類は裏紙利用しない) ミスプリントなどを減らしていきたい。裏紙利用は習慣的に行っている。 今後、電子契約に切り替える検討をしている。			
廃棄物リサイクル率向上	93.70%	91.6%	下回る	×
	1) 固形燃料(RPF)向けを増やす RPF向けの出荷を圧縮して行っており、また要領を掴み効率向上に指導していく。 2) マテリアルリサイクルの割合を増やす 原油高でマテリアルリサイクルが増加している。 塩ビは埋立に回っているものもあるので、リサイクルできる先を探していきたい。 3) 細かな選別を心掛ける 混合などで引き取った場合、産廃とスクラップなど混ざっている場合もあるので再度リサイクルに回せるよう心掛けていく。			
収集運搬量の拡大	2507.45t	2704.52t	上回る	○
	1) 回収ルート効率化し、1日で運べる量を増やす。 専務の運行計画によりだいぶ効率化できるようになってきた。 2) 優良認定事業者を生かして、新規契約数を増やす。 新規案件は定期的が増えていて、遠方の現場や、夜勤などで案件が増えてきている。 3) 車両・運転手の増員を図り、業務拡大に対応できるようにする。 今期も減ったり増えたりなど、案件も増えてきているので定着の安定も図っていきたい。			
中間処理量の拡大	2565.17t	2680.12t	上回る	○
	1) 優良認定事業者を生かして、新規契約数を増やす。 行政からの仕事が増えている。年度末に仕事が重なる為、今度民間企業からの定期便の仕事を増やした。 2) 新たな中間処理施設を増設し、処理能力の拡大を図る。 増加した中間処理設備の効率で一層処理能力に磨きが掛かった為出荷先との定着化に着目して行きたい。 3) 人員を追加し、持込にも対応できるように組織を強化する。 持込も増え解体ものが増えた。構内作業員を増やし選別の強化に繋げて行けるようにしていきたい。			

※環境への負荷チェックリストで、二酸化炭素への換算は、中部電力の数値0.441kg・CO₂/kWhを使用しています。

※2022年度二酸化炭素排出量152275.92kg-CO₂

※2022年度中間処理量2680.12t 内リサイクル化1293.36t

※基準数値の設定にあたり用いた分母のtは中間処理量。

※達成率は目標÷実績で計算。

8. 次年度の取組内容

◎これまでの活動を継続しながら、以下の活動を強化していきたい。

電気使用量の削減

前如同様、電気料金が上がった為各事務所、工場の電気を節電の為に、日が昇っている間は電気を消し太陽光のみで作業をするようにしている。その為使っている電球をLEDに変更し電力を抑える活動を行ってきたい。

燃料使用量の削減

燃料の高騰が著しく、低下の見込みが無いためなるべくアイドリングストップ、エアコンの温度調節など燃料消費を抑えた稼働を積極的に努めていきたい。

水道使用量の削減

やはり、水回りの老朽化が進んでいる為昨年水漏れが発生した、特に夏場のギロチンジャーではクーリングタワーを使う為老朽してしまったパイプを使うと間から水が漏れ使用量が増えてしまうので、点検を強化していきたい。

廃棄物排出量の削減

自社発生の廃棄物は少ないが、きめ細かな選別により、すこしでも多くリサイクルできるように努めたい。原油の値上げによりマテリアルリサイクルの引き合いも強くなってきているので、フィルム・硬質プラスチックの選別に力を入れたい。

リサイクル率の向上

新しい大型処理機械(圧縮)の使用頻度も増えリサイクルの向上も見込める、ただ使えるのが一部のものになるので、構内作業員での理解も含め指導などに努めていく。

収集運搬量の拡大

今期は中間処理量が伸びている傾向にあり、新規の案件も着実に増えてきているまた、行政の案件だけでなく、民間企業での案件も積極的に取り組んでいきたい。また定着化にも努めていきたい。

中間処理量の拡大

着実に処理能力は上がっている為、構内作業員の強化、新規雇用をしていき選別の幅を増やして行き処理の拡大に繋げられるように尽力していきたい。

9.環境関連法規制等の違反、訴訟の有無

(1)適用となる主な環境法規

- ・環境基本法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・大気汚染防止法
- ・悪臭防止法
- ・振動規制法
- ・騒音規制法
- ・自動車NOx・PM法
- ・高圧ガス保安法
- ・フロン排出抑制法
- ・グリーン購入法
- ・家電リサイクル法
- ・消防法
- ・労働安全衛生法
- ・環境保全条例(名古屋市)
- ・産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例(名古屋市)

(2)違反、訴訟の有無

上記環境関連法については、チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。また過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導はなく、訴訟も1件もありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

昨年度よりも売上は減少しているものの収集運搬量・処分量ともに増加に転じ、業績自体は増収となり、いい結果となった。その背景には、有価物の単価の反落も影響しているが、それ以上に利益率の良い産業廃棄物の増大が要因となった。燃料使用量に関しては、滋賀県の新たな事業所での取引がはじまり、遠方での仕事が増えたのが要因の考えられる。本業に直結するリサイクル率に関しては、目標をクリアできなかったことは残念に思う。要因を精査して次年度の取組は反映していきたい。

11.優良産業廃棄物処理業者認定制度

今年度長野県の新規許可と既存自治体での特管の収集運搬業の許可を得た。次回更新時には優良認定が受けられるように、取組を継続して行きたい。

12.地域貢献活動について

毎週金曜日に工場周辺の一斉清掃を行っております。本社ではあおなみ線南荒子駅までの経路を中心に高架下にごみのポイ捨てが多いので、毎週ごみ拾いをしています。これからも地域に根ざした企業を目指して清掃活動を行っていきたいと思います。

